

国立国語研究所学術情報リポジトリ

沖永良部方言の音韻

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-11-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002479

沖永良部方言の音韻

木部 暢子*

1 はじめに

沖永良部方言は奄美群島の南部に位置する。行政上は鹿児島県に属するが、言語上は琉球語のうち、国頭語に位置づけられる。図示すると、以下のとおりである。

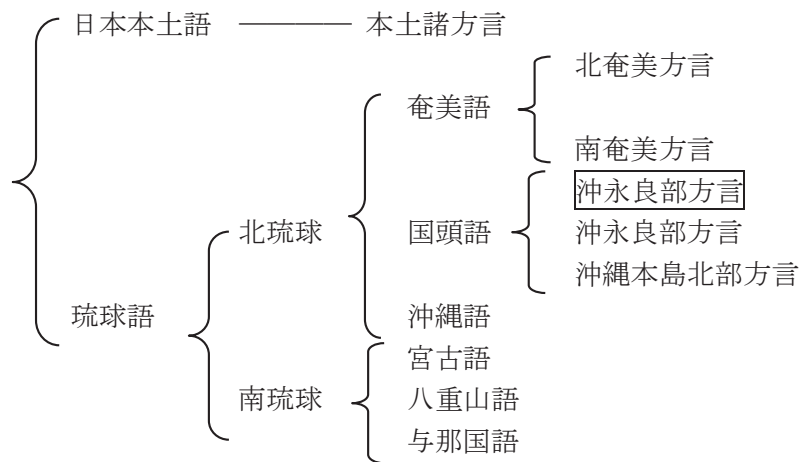


図1 沖永良部方言の位置

2 母音

2.1 短母音

短母音は /a/, /i/, /u/ の3つで、/a/ は共通語の /a/ に、/i/ は共通語の /i/ と /e/ に、/u/ は共通語の /u/ と /o/ に対応している。母音だけで音節を作るときには、基本的に声門閉鎖音 /ʔ/ を伴う。以下に調査語の中から例をあげておく。(用例の「~」は同一話者での発音の揺れを、「/」は語形の違いを、「//」は話者による発音や語形の違いを表す。以下同じ。)

表1 短母音 /a/, /i/, /u/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
a	ほくろ	ʔaza (ʌあざ)	ʔaza (ʌあざ)	ʔadza (ʌあざ)	ʔadza (ʌあざ)
	お母さん	ʔama (ʌあんま)	ama (あんま)	ʔama (ʌあま)	ʔama (ʌあま)
i	犬(いぬ)	ʔinu: (ʌいぬー)	ʔinu: (ʌいぬー)	ʔinu: (ʌいぬー)	ʔinu (ʌいぬ)~ ʔinu: (ʌいぬー)
	かまきり	ʔicatu (ʌいしゃとう)	ʔicatu (ʌいしゃとう)	ʔicatu (ʌいしゃとう)~ ʔicatu: (ʌいしゃとうー)	ʔicatu: (ʌいしゃとうー)

* きべ のぶこ：国立国語研究所・教授

u	どれ	uduru (うどる)	uduru (うどる)	?uduru (うどる)	?uduru (うどる)
	芋(いも)	?umu: (うむー)	?umu: (うむー)	?umu: (うむー)	?umu: (うむー)

少数だが /e/ と /o/ も使われる。/e/ は共通語の /ai/, /ae/ に対応しており、地域によっては長母音の /e:/ で現れることもある。おそらく、*ai, *ae > *e: > e, *ou > *o: > o のような変化過程を経て生じたものと思われる。[tinto] (ていんと : 空) の [to] も、長母音の [to:] が短母音化したものと考えられる。[jeri, eri] (いえり : 襟), [itoko] (いところ : 従兄弟), [katsuo] (かつお : 鰹) は新しい語形か。[sampo] (さんぽ : 鶉) の [po] は由来がよく分からない。

表2 短母音 /e/, /o/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
e	腕(うで)	?udi: (うでいー)	heɽna: (へんにゃー)	ɕiɽna:(ひんにゃ)~ heɽna:(へんにゃ)	heɽna: (へんにゃー)
	しゃもじ	micige (みしげ)	micige (みしげ)	micige (みしげ)	micige: (みしげー)
	畑(はたけ)	ɸate (ふあて)	hate (はて)	hatte (はって)~ ɸatte (ふあつて)	ɸatte: (ふあつてー)
	襟(えり)	jeri (いえり)	NR	jeri (いえり)	eri (えり)
o	従兄弟 (いところ)	itoko (いところ)	itoko (いところ)	?utudza (うとうぢゃ)	?utudza (うとうぢゃ)
	鰹(かつお)	katsuo (かつお)	katsuo (かつお)	katsuo (かつお)	katsuo (かつお)
	鶉(うずら)	sampo (さんぽ)	NR	sampo (さんぽ)	sampo (さんぽ)
	空(そら)	tinto (ていんと)	tinto (ていんと)~ tinto: (ていんとー)	tiɽto (ていんと)	teɽto: (てんとー)

2. 2 長母音

長母音は /a:/, /i:/, /u:/, /e:/, /o:/ の5つである。沖永良部方言には、1語(1形態素)は2拍以上の長さを持つという制約があり、「歯」「手」「藻」など、共通語では1拍の語が沖永良部方言では長音で発音される。これらの語は、複合語の要素になったときも長音で発音される。例えば、「歯」は単独で [ɸa:] (ふあー), ないし [ha:] (はー) だが、複合語でも [ɸa:ɕici:] (ふあーぢし : 歯茎) である。/e:/ は共通語の /ai, ae/ に、/o:/ は共通語の /aw, au, ao/ に対応する。

表3 長母音 /a:/, /i:/, /u:/, /e:/, /o:/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
a:	歯(は)	ha: (はー) // ɸ ^w a: (ふあー)	ha: (はー)	ɸa: (ふあー)	ɸa: (ふあー)
	歯茎 (はぐき)	ɸ ^w a:ɕici: (ふあーししー)	ɸ ^w a:ɕici (ふあーぢし)	haguki (はぐき)	ɸa:ɕici (ふあーぢし)
	踵(かかと)	?a:du: (^あーどー)	?a:du: (^あーどー)	?a:du: (^あーどー)	?a:du: (^あーどー)
	豆(まめ)	ma:mi: (まーみー)	ma:mi: (まーみー)	ma:mi: (まーみー)	ma:mi: (まーみー)
i:	手(て)	ti: (ていー)	ti: (ていー)	ti: (ていー)	t ^ʔ i: ~ti: (ていー)

	耳(みみ)	mi:mi: (みーみー)	mimi: (みみー)	mimi: (みみー)	mimi: (みみー)
	雲脂 (ふけ)	ʔi:ki: (へいーきー)	ʔi:ki: (へいーきー) <古>	ɸuke (ふけ)	ʔi:tei: (いーちー)
u:	藻(も)	mu: (むー)	mu: (むー)	mu: (むー)	mu: (むー)
	十(とお)	tu: (とー)	tu: (とー)	tu: (とー)	tu: (とー)
	菜(な)	na: (なー)	ʔudzuru (へうーぢゆる)	ʔudiba: (へうーでくばー) / ʔo:ɸa: (へおーふあー)	ʔu:ti:ba: (へうーていーば)
e:	灰(はい)	ɸe: (ひえー)	he: (へー)	he: (へー)	he: (へー)
	蠅(はえ)	he: (へー)	he: (へー)	he: (へー)	he: (へー)
	蜻蛉 (とんぼ)	jamante (やまんて)	ʔje:da (へいえーだ) ~ʔe:da (へえーだ)	ʔe:dza (へえーざ)	jamada: (やまだー)
o:	栗(あわ)	ʔo: (へおー)	ʔo: (へおー)	ʔo: (へおー)	ʔo: (へおー)
	蛸(たこ)	to: (とー)	to: (とー)	t'o: (へとー)	to: (とー)
	麴(こうじ)	ho:dzi (ほーじ)	ho:dzi (ほーじ)	ho:dzi (ほーじ)	ho:dzi (ほーじ)

沖永良部方言では、長母音と短母音が揺れることが多い。例えば、「板」は [itea:] (いちゃー) でもいいし、[itea] (いちゃ) でもいい。以下に揺れの例をあげる(網掛け部分が揺れの例)。

表4 長母音と短母音の揺れの例

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
a~a:	板(いた)	itea: (いちゃー)~ itea (いちゃ)	ita (いた)	ʔitea: (へいちゃー)~ ʔi:tea (へいーちゃ)	i:tea (へいーちゃ)
	鼻(はな)	ɸ ^w ana (ふあな)	hana (はな)	hana: (はなー)~ hana (はな)	hana: (はなー) ~ ɸana: (ふあなー)
	草(くさ)	kusa (くさ)	kusa: (くさー)	kusa: (くさー)~ kusa (くさ)	kusa (くさ)
i~i:	時(とき)	tuki (とうき)~ tuki: (とうきー)	tuki (とうき)~ tuki: (とうきー)	tuki: (とうきー)	tuki: (とうきー)
	酒(さけ)	saki (さき)	saki: (さきー)~ saki (さき)	saki (さき)	saki (さき)
	首(くび)	kubi (くび)	kubi (くび)	kubi (くび)	kubi: (くびー)~ kubi (くび)
u~u:	頭(あたま)	teuburu (ちゅぶる)	teuburu (ちゅぶる)	teiburu (ちぶる)~ teiburu: (ちぶるー)	teiburu (ちぶる)
	いるか	ɸitu (しとう)	NR	ɸittu (しっとう)~ ɸittu: (しっとうー)	ɸitu(しっとう)
	女(おんな)	^w unagu: (うなぐー)	^w unagu (うなぐ)~ ^w unagu: (うなぐー)	wunagu (うなぐ)	wunagu: (うなぐー)
o~o:	櫛(かい)	kai (かい)	joku (よく)~ jo:ku(よーく)	ʔjo: (へよー)	ʔjo'o (へよお)

天井 (てんじょう)	tindzo: (ていんち よー)~tindzo (て いんちよ)	tindzo: (ていんちよー)	tindzo (ていんちよ)	tendzo: (ていんちよー)
---------------	---	---------------------	-------------------	---------------------

2. 3 二重母音

二重母音には, /ai/, /ui/, /oi/ の3種類がある。以下に例をあげる。

表5 二重母音 /ai/, /ui/, /oi/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
ai	尿(にょう)	eibai (しばい)	eibe: (しべー)	ei:bai (しーばい)	ei:bai(しーばい)
	蝸牛(かたつむり)	teintai (ちんたい)	teinte: (ちんてー)	teintai (ちんたい)	teintai (ちんたい)
ui	声(こえ)	φui (ふい)	φui (ふい)	φui (ふい)	φui (ふい)
	冬瓜(とうがん)	eu:bui (しーぶい)	eubui (しぶい)	eibui (しぶい)	eibui (しぶい)
oi	鰐(くわ)	k'oi (こい)	koi: (こいー)	k'oi (^こい)	k'oi (^こい)

沖永良部方言と共通語との母音の対応関係を図示すると、以下のようになる。

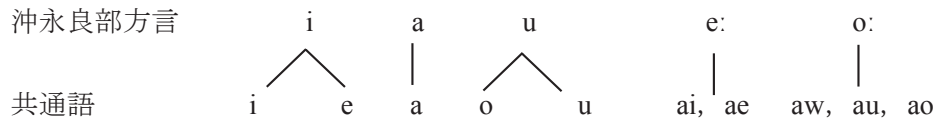


図2 沖永良部島方言と標準日本語の母音の対応

3 子音

3. 1 両唇音

両唇音には、無声閉鎖音の /p/, 有声閉鎖音の /b/, 鼻音の /m/ がある。

3. 1. 1 両唇閉鎖音 /φ/, /b/

沖永良部方言では、/p/ はほとんど使われない。調査語彙の範囲では以下の3語に/p/ が現れた。

表6 両唇音 /b/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
pa	梢(砂糖黍 のこずえ)	timpana (ていんぱな)	NR	sura: (すらー)	sura (すら)
pu	天ぷら	agimun (あぎむん)	tempura (てんぷら)/ teikiagi (ちきあぎ)	teikijagi (ちきあぎ)	tempura (てんぷら)
po	鶉(うずら)	sampo (さんぼ)	NR	sampo (さんぼ)	sampo (さんぼ)

/b/ は共通語の /b/ に対応している。語頭にcomingることはあまりなく、多くは語中に現れる。

表7 両唇音 /b/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
ba	尿(にょう)	ɛibai (しばい)	ɛibe: (しべー)	ɛi:bai (しーばい)	ɛi:bai(しーばい)
	草履(ぞうり)	saba (さば)	saba (さば)	saba (さば)	saba (さば)
ba:	傍(そば)	suba: (すばー) ~ ɛiba: (しばー)	ɛiba: (しばー)	suba: (すばー)	suba: (すばー)
bi	首(くび)	kubi (くび)	kubi (くび)	kubi (くび)	kubi: (くびー)~ kubi (くび)
	指(ゆび)	jubi (ゆび)	u:bi (うーび)	?uibi (ういび)	jubi: (ゆびー)
bi:	海老(えび)	tanaga (たながー)	?ibi: (へいびー)	?ibi (へいび)	?ibi: (へいびー)
bu	油(あぶら)	abura:(あぶらー)	abura:(あぶらー)	abura:(あぶらー)	abura:(あぶらー)
	冬瓜(とうがん)	ɛu:bui (しーぶい)	ɛubui (しぶい)	ɛibui (しぶい)	ɛibui (しぶい)
be	便所(べんじょ)	bendzo (べんぢょ)	bendzo (べんぢょ)	kandzu (かんぢゅ)	k ^h andzu (かんぢゅ)
be:	テレビばかり	terebibe: (テレビベー)	terebibe: (テレビベー)	terebibe: (テレビベー)	terebibe: (テレビベー)

3. 1. 2 両唇音 /m/

両唇鼻音の /m/ は共通語の /m/ に対応している。以下に例をあげる。

表8 両唇音 /m/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
ma	豆(まめ)	ma:mi: (まーみー)	ma:mi: (まーみー)	ma:mi: (まーみー)	ma:mi: (まーみー)
	山(やま)	jama (やま)	jama (やま)	jama (やま)	jama: (やまー)
	お母さん	?ama (あま)	ama (あま)	?ama (あま)	?ama (あま)
ma:	豆(まめ)	ma:mi: (まーみー)	ma:mi: (まーみー)	ma:mi: (まーみー)	ma:mi: (まーみー)
mi	耳(みみ)	miN (みん)	miN (みん)	miN (みん)	miN (みん)
mi:	耳(みみ)	mi:mi: (みーみー)	mimi: (みみー)	mimi: (みみー)	mimi: (みみー)
	夢(ゆめ)	imi: (いみー)	imi: (いみー)	imi: (いみー)	imi: (いみー)
	甥(おい)	mi:kk ^w a: (みーっくわー)	mi:k ^w a: (みーくわー)	mi:k ^w a (みーくわ)	mi:k ^w a: (みーくわー)
mu	腿(もも)	mumu (むむ)	mu:mu: (むーむー)	mumu: (むむー)	mumu: (むむー)
mu:	皆(みな)	mu:nu (むーぬ)	mu:nage: (むーなげー) ~mu:nage (むーなげ)	muru (むる)	mu:ru (むーる)
	藻(も)	mu: (むー)	mu: (むー)	mu: (むー)	mu: (むー)
me:	娘 (むすめ)	me:rabi (めーらび)	me:rabi (めーらび)	me:nabi (めーらび)	me:rabi (めーらび)

3. 2 歯茎音

沖永良部方言の歯茎音には、/t/, /d/, /s/, /z/, /n/, /r/ がある。

3. 2. 1 歯茎閉鎖音 /t/, /d/

歯茎閉鎖音（無声）の /t/ は、共通語の /t/ に対応している。沖永良部方言の /ta/ は共通語の /ta/ に、/ti/ は /te/ に、/tu/ は /to/ に対応す。また、沖永良部方言の /te/ は共通語の /tai, tae/ に、/to/ は /tao, taw/ に対応する。

表9 歯茎閉鎖音 /t/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
ta	ばった	ga:ta (がーた)	ga:ta (がーた)	gatta: (がったー)	gatta (がった)
ta:	肩(かた)	hata: (はたー)	hata: (はたー)	hata: (はたー)	hata: (はたー)~ hata (はた)
	田(た)	ta: (たー)	ta: (たー)	ta: (たー)	ta: (たー)
ti	太陽(たいよう)	tida (でいだ)	tida (でいだ)	tida (でいだ)	tida (でいだ)
	明後日 (あさって)	asati (あさてい)	asati (あさてい)	asati (あさてい)	juwa: (ゆわー)/ ja: (やー)
ti:	手(て)	tí: (ていー)	ti: (ていー)	ti: (ていー)	tí: ~ti: (ていー)
tu	鶏(にわとり)	tui (とうい)	tui (とうい)	tui (とうい)	tui (とうい)
tu:	十(とお)	tu: (とうー)	tu: (とうー)	tu: (とうー)	tu: (とうー)
te	畑(はたけ)	ɸate (ふあて)	hate (はて)	hatte (はって)~ ɸatte (ふあって)	ɸatte: (ふあってー)
to:	蛸(たこ)	to: (とー)	to: (とー)	t'o: (へとー)	to: (とー)
	俵(たわら)	to:ra: (とーら)	to:ra: (とーら)	to:ra: (とーら)	to:ra: (とーら)

歯茎閉鎖音（有声）の /d/ は、共通語の /d/ に対応している。沖永良部方言の /da/ は共通語の /da/ に、/di/ は /de/ に、/du/ は /do/ に対応する。また、/de/ は共通語の /dai, dae/ に対応する。（表10の [do:gu]（どーぐ：茶碗）は新しい語形か。）

表10 歯茎閉鎖音 /d/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
da	涙(なみだ)	na:da: (なーだー)	nanda: (なだー)	nada: (なだー)	mi:nada (みーなだ)
di	袖(そで)	sudi (すでい)	sudi: (すでいー)	sudi (すでい)	sudi (すでい)
	筆(ふで)	ɸyde (ふで)	ɸude (ふで)	ɸudi (ふでい)	ɸudi (ふでい)
du	どれ	uduru (うどうる)	uduru (うどうる)	?uduru (へうどうる)	?uduru (へうどうる)
du:	腫(かかと)	?a:du: (^あーどうー)	?a:du: (^あーどうー)	?a:du: (^あーどうー)	?a:du: (^あーどうー)
de:	竹(たけ)	de: (でー)	de: (でー)	de: (でー)	de: (でー)
do:	茶碗(ちゃわん)	do:gu (どーぐ)	do:gu (どーぐ)	teabanu: (ちゃばぬー)	teateaban (ちゃばん)

3. 2. 2 歯茎摩擦音 /s/, /z/

歯茎摩擦音（無声）の /s/ は、共通語の /s/ に対応している。母音 /a, u/ の前では [s]、母音 /i/ の前では硬口蓋音の [ç]、母音 /e/ の前では [s] ないし [ç] である。

表 11 歯茎摩擦音 /s/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
sa	酒(さけ)	saki (さき)	saki: (さきー)~ saki (さき)	saki (さき)	saki (さき)
sa:	草(くさ)	kusa (くさ)	kusa: (くさー)	kusa: (くさー)~ kusa (くさ)	kusa (くさ)
si	島(しま)	eima (しま)	eima: (しま)	eima (しまー)	eima: (しまー)
	箸(はし)	ɸaei (はし)	haei (はし)	haei (はし)~ ɸ ^w aei (ふあし)	haei (はし)~ ɸaei (ふあし)
si:	巢(す)	ei: (しー)	ei: (しー)	ei: (しー)	ei: (しー)
su	袖(そで)	sudi (すでい)	sudi: (すでいー)	sudi (すでい)	sudi (すでい)
	薬(くすり)	kusui (くすい)	k ^u sui (くすい)	kussui (くすい)	kussui (くすい)
su:	糞(くそ)	kusu: (くっすー)	kusu: (くっすー)	kusu: (くっすー)	kussu: (くっすー)~ kusu: (くすー)
se:	咳(せき)	ee: (しえー)	se (せ) // ee (しえ)	ee: (しえー)	se: (せー)
so:	竿(さお)	so: (そー)	so: (そー)	so'o (そお)	so'o (そお)

歯茎摩擦音（有声）の /z/ は、共通語の /z/ に対応している。母音 /a, u/ の前では [z], または [dz], 母音 /i/ の前では [dz] である。

表 12 歯茎摩擦音 /z/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
za	ほくろ	?aza (ゝあざ)	?aza (ゝあざ)	?adza (ゝあざ)	?adza (ゝあざ)
	匂い(におい)	haza (はざ)	hada (はだ)	hadza (はだ)	hadza (はだ)
zi	風(かぜ)	hadzi (はぢ)	hadzi (はぢ)	hadzi (はぢ)	hadzi (はぢ)
	鯨(くじら)	gudzija (ぐぢら)	kudzira (くぢら) / gudzija (ぐぢら)	kudzira (くぢら)	gudzija (ぐぢら)
zi:	傷(きず)	kidzi (きち)	kidzi (きち)	kidzi: (きちー)	kidzi: (きちー)
	鼻血(はなぢ)	ɸ ^w anadzi (ふあなぢ)	hanadzi (はなぢー)	hanadzi: (はなぢー)	ɸanadzi: (ふあなぢー)
zu:	去年 (きよねん)	ɸuzu: (ふずー)	ɸudu: (ふどー)~ ɸudzu: (ふずー)	ɸudzu (ふず)	ɸudzu: (ふずー)

3. 2. 3 歯茎鼻音 /n/

歯茎鼻音の /n/ は、共通語の /n/ に対応している。母音 /a, u, e, o/ の前では [n], 母音 /i/ の前では硬口蓋音の [ɲ] で発音される。

表 13 歯茎鼻音 /n/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
na	夏(なつ)	natei (なち)	natei (なち)	natei (なち)	natei (なち)
	棚(たな)	tana (たな)	tana (たな)	tana (たな)	tana (たな)

na:	名(な)	na: (な一)	na: (な一)	na: (な一)	na: (な一)
ni	ひしゃく	nibu (にぶ)	nibu (にぶ)	nibu (にぶ)	nibu (にぶ)
ni:	鬼(おに)	upi: (うに一)	upi: (うに一)	upi: (うに一)	upi: (うに一)
nu	糠(ぬか)	nuka: (ぬか一)	nuka: (ぬか一)	nuka: (ぬか一)	nuka (ぬか)
nu:	犬(いぬ)	?inu: (ゝいぬ一)	?inu: (ゝいぬ一)	?inu: (ゝいぬ一)	?inu (ゝいぬ)~ ?inu: (ゝいぬ一)
ne	夕方(ゆうがた)	ju:ne (ゆーね)	jo:ne (よーね)	jo:ne (よーね)	jo:ne: (よーね一)
ne:	なに	nu: (ぬ一)	nu: (ぬ一)	nu: (ぬ一)	nu: (ぬ一)
no:	鋸(のこ)	no:gi: (のーぎ一)	no:gi: (のーぎ一)	no:dzi: (のーぢ一)~ no:dziN (のーぢん)	no:dzi: (のーぢ一)

3. 2. 4 歯茎はじき音 /r/

歯茎はじき音の /r/ は、共通語の /r/ に対応している。

表 14 歯茎はじき音 /r/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
ra	瓦(かわら)	kawara: (かわら)	ka:ra (かーら)	ka:ra (かーら) / kawara (かわら)	ka:ra (かーら)
	娘(むすめ)	me:rabi (めーらび)	me:rabi (めーらび)	me:nabi (めーらび)	me:rabi (めーらび)
ri	これ	φuri (ふり)	uri (うり)	φuri (ふり)~ ?uri (ゝうり)	φuri (ふり)
ri:	東(ひがし)	agari (あがり)	agari (あがり)	agari (あがり)	agari (あがり)
ru	丸い(まるい)	marusa (まるさ)	marusa (まるさ)	marusa (まるさ)	marusan (まるさん)
ru:	色(いろ)	iru: (いる一)	iru: (いる一)	iru: (いる一)	iru: (いる一)
re:	盥(たらい)	tarai (たらい)	tare (たれ)~ tare: (たれ一)	tare (たれ)	ta:re: (たーれ一)

3. 3 硬口蓋音

硬口蓋音には、破擦音(無声)の /c/ がある。沖永良部方言では、/c/ の後には母音 /i/ しか立たないので、共通語の「チ」と「ツ」が沖永良部方言ではどちらも [tei] で現れる。

表 15 硬口蓋破擦音 /c/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
ci	血(ち)	tzi: (ち一)	tei: (ち一)	tei: (ち一)	tei: (ち一)
	蝸牛(かた つむり)	teintai (ちんたい)	teinte: (ちんて一)	teintai (ちんたい)	teintai (ちんたい)
	口(くち)	kutei (くち)	kutei (くち)	kutei: (くち一)	kuttei: (くち一)~ kutei (くち)
	爪(つめ)	tzimi (ちみ)	teimi (ちみ)	teimi: (ちみ一)	teimi: (ちみ一)

	月(つき)	tejkju (つき)	teikju (ちきゆ)	teikkju: (ちっきゆー)	teikkju: (ちっきゆー)
	夏(なつ)	natei (なち)	natei (なち)	natei (なち)	natei (なち)
tei:	乳(ちち)	tzi: (ちー)	tei: (ちー)	tei: (ちー)	tei: (ちー)

3. 4 軟口蓋音

軟口蓋音には、無声閉鎖音の /k/ と有声閉鎖音の /g/ がある。

3. 4. 1 軟口蓋音 /k/

/k/ は共通語の /k/ に対応している。ただし、出花と国頭では、共通語の /ki/ に /ci/ [tei] が対応する場合がある（表の網掛け部分）。

表 16 軟口蓋音 /k/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
ka	鰹(かつお)	katsuo (かつお)	katsuo (かつお)	katsuo (かつお)	katsuo (かつお)
	力(ちから)	teikkjara (ちっきやら)	tejkara (ちから)	teikara (ちから)	teikara (ちから)
ka:	瓦(かわら)	kawara: (かわらー)	ka:ra (かーら)	ka:ra (かーら) / kawara (かわら)	ka:ra (かーら)
ki	昨日(きのう)	kijnu (きにゆ)	kujnu (くにゆ)~ kujnu: (くにゆー)	kiñnu: (きんにゆー)	kiñnu: (きんにゆー)
	酒(さけ)	saki (さき)	saki: (さきー)~ saki (さき)	saki (さき)	saki (さき)
	肝(きも)	kimu: (くむー)	kimu: (くむー)	teimu (ちむー)	teimu: (ちむー)
	息(いき)	?iki (へいき)	?iki (へいき)	?itei (へいち)	?ittei (へいち)
ki:	胡瓜(きゅうり)	ki:ui (きゅーうい)	NR	ki:?ui (きーへうい)~ kju:ri (きゅーり)	kiui (きゅい)~ kju:i (きゅーい)
ku	口(くち)	kutei (くち)	kutei (くち)	kutei: (くちー)	kuttei: (くちー)~ kutei (くち)
	蜜柑(みかん)	kuribu (くりぶ)	kurubu (くりぶ)	kuribu: (くりぶー)~ kuribu (くりぶ)	kuribu (くりぶ)
	九つ(ここのつ)	kunutei (くぬち)	kunutei: (くぬちー)	kunutei: (くぬちー)	kunutei: (くぬちー)
ku:	茎(くき)	ku:ki: (くーきー)	φuki (ふき)	ku:tei: (くーちー)	φujni (ふに)
ke	怪我(けが)	jamatei (やまち)	kega (けが)	kiga: (きがー) / jamatei: (やまちー)	jamatei (やまちー) / kega (けが)
ke:	粥(かゆ)	ke: (けー)	ke: (けー)~ ke (け)	ke: (けー)	ke: (けー)
ko	従兄弟 (いとこ)	itoko (いとこ)	itoko (いとこ)	?utudza (へうとうぢゃ)	?utudza (へうとうぢゃ)

3. 4. 2 軟口蓋音 /g/

/g/ は共通語の /g/ に対応している。ただし、出花と国頭では、共通語の /gi/ に /zi/ [dzi] が対応する場合がある（下の表の網掛け部分）。これは、上記の /ki/ と並行的な現象である。

表 17 軟口蓋音 /g/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
ga	ぼった	ga:ta (がーた)	ga:ta (がーた)	gatta: (がったー)	gatta (がった)
	孫(まご)	ʔumaga (うまが)	mʔa:ga (まーが)~ ma:ga (まーが)	mʔaga (まが)~ maga (まが)	mʔaga (まが)
ga:	男(おとこ)	jinga: (いんがー)	jinga: (いんがー)	jinga (いんが)~ jinga: (いんがー)	jinga: (いんがー)
gi	福木 (ふくぎ)	ʔukugi (ふくぎ)	ʔukutangi (ふくたんぎ)	ʔukugi: (ふくぎー)	ʔukugi: (ふくぎー)
	松(まつ)	mateigi (まちぎ)	mateigi (まちぎ)	mateigi (まちぎ)	mateigi (まちぎ)
	山羊(やぎ)	ja:gi (やーぎ)	jagi (やぎ)	jadzi (やぢ)	jadzi (やぢ)
	鰻(うなぎ)	ʔunagi (うなぎ)	ʔunagi (うなぎ)	ʔunadzi (うなぢ)	ʔunadzi (うなぢ)
gi:	鋸(のこ)	no:gi: (のーぎー)	no:gi: (のーぎー)	no:dzi: (のーぢー)~ no:dzin (のーぢん)	no:dzi: (のーぢー)
gu	胡麻(ごま)	guma (ぐま)	guma (ぐま)	guma (ぐま)	guma (ぐま)
	鯨(くじら)	gudzija (ぐぢら)	kudzira (くぢら) / gudzija (ぐぢら)	kudzira (くぢら)	gudzija (ぐぢら)
gu:	女(おんな)	*unagu: (ううなぐー)	*unagu (ううなぐ)~ *unagu: (ううなぐー)	wunagu (ううなぐ)	wunagu: (ううなぐー)
ge	しゃもじ	micige (みしげ)	micige (みしげ)	micige (みしげ)	micige: (みしげー)
go	クワズイモ	jugo:mba:ca (ゆごーんばーしゃ)	jugobaca (ゆごばしゃ)	jugobaca (ゆごばしゃ)	jugobaca (ゆごばしゃ)
go:	穴(あな)	go: (ごー)	ʔana (あな)	go: (ごー)	go: (ごー)

3. 5 声門音

声門音には、声門摩擦音（無声）の /h/ と声門閉鎖音の /ʔ/ がある。

3. 5. 1 声門摩擦音 /h/

/h/ は共通語の /h/ に対応し、母音 /a/ の前では [h] ないし [ɸ] (表の網掛け部分)、母音 /i/ の前では [ç] ないし [ɸ] (表の網掛け部分)、母音 /u/ の前では両唇音 /ɸ/、母音 /e/, /o/ の前では /h/ である。日本語のハ行音は古くは *p で、*p > *ɸ > h のような変化を起こして現在に至ったと推定されている (*は想定形を表す)。沖永良部方言の [ha~ɸa], [çi~ɸi] は、その変化の段階を表すものである。一方で /h/ は、共通語の /k/ にも対応する（例えば [hadzi] (はち: 風), [çi:] (ひー: 木) など）。この /h/ は [ha], [çi] で安定していて、[ha~ɸa], [çi~ɸi] のように揺れることはない。

表 18 声門摩擦音 /h/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
ha	鼻(はな)	ɸ ^w ana (ふあな)	hana (はな)	hana: (はな一)~ hana (はな)	hana: (はな一) ~ ɸana: (ふあな一)
	葉(は)	ɸ ^w a: (ふあ一) // ha: (は一)	çi:nuɸ ^w a (ひーぬふあ)	ɸa: (ふあ一)	ɸa: (ふあ一)
	肩(かた)	hata: (はた一)	hata: (はた一)	hata: (はた一)	hata: (はた一)~ hata (はた)
	風(かぜ)	hadzi (はぢ)	hadzi (はぢ)	hadzi (はぢ)	hadzi (はぢ)
ha:	亀(かめ)	hami: (はみ一)	hami: (はみ一)	ha:mi: (は一み一)	ha:mi: (は一み一)
hi	大きい	umagisa (まぎさ)	ɸuisa (ふいさ)	uɸisa (うふいさ)	uɸisan (うふいさん)
	大蒜 (にんにく)	çiru (ひる)	çiru: (ひる一)	çiru (ひる)	ɸiru (ふいる)~ çiru (ひる)
	日(ひ)	çi: (ひ一)	çi: (ひ一)	çi: (ひ一)	çi: (ひ一)
	篋(へら)	çira (ひら)	hera (へら)	çira (ひら)	çira (ひら)
	煙(けむり)	çibuei (ひぶし)	çibuei (ひぶし)	çibuei (ひぶし)	çibuei (ひぶし)
hi	木(き)*	çi: (ひ一)	çi: (ひ一)	çi: (ひ一)	çi: (ひ一)
hi:	毛(け)	çigi (ひぎ) / çi: (ひ一)	çigi (ひぎ)	çi: (ひ一)	çi: (ひ一)
hu	冬(ふゆ)	ɸuju (ふゆ)	ɸuju (ふゆ)	ɸuju (ふゆ)	ɸuju (ふゆ)
	袋(ふくろ)	ɸukkuru (ふくる)	ɸukuru (ふくる)	ɸukuru (ふくる)	ɸukkuru (ふくる)
	骨(ほね)	ɸuni (ふに)	ɸuni (ふに)	ɸuni (ふに)	ɸuni (ふに)
	茎(くき)	ku:ki: (く一き一)	ɸuki (ふき)	ku:tei: (く一ち一)	ɸuni (ふに)
	声(こえ)	ɸui (ふい)	ɸui (ふい)	ɸui (ふい)	ɸui (ふい)
	今年(ことし)	ɸutɸuei (ふとうし)	ɸutuei (ふとうし)	ɸutabi (ふたび) / ɸutuei (ふとうし)	ɸutuei (ふとうし)
hu:	穂(ほ)	ɸu: (ふ一)	ʔininuɸu: (へいにぬふ一)	ɸu: (ふ一)	ɸu: (ふ一)
he	腕(うで)	ʔudi: (へうでい一)	heɸɸa: (へんにや一)	çiɸɸa: (ひんにや)~ heɸɸa: (へんにや)	heɸɸa: (へんにや一)
he:	灰(はい)	çe: (ひえ一)	he: (へ一)	he: (へ一)	he: (へ一)
	南(みなみ)	çe: (ひえ一)	he: (へ一)	he: (へ一)	he: (へ一)
	蠅(はえ)	he: (へ一)	he: (へ一)	he: (へ一)	he: (へ一)
ho:	箒(ほうき)	ho:ki (ほ一き)	ho:ki (ほ一き)	ho:tei (ほ一ち)	ho:tei (ほ一ち)
	皮(かわ)	ho: (ほ一)	ho: (ほ一)	ho: (ほ一)	ho: (ほ一)
	川(かわ)	ho: (ほ一)	ho: (ほ一)	ho:ra (ほ一ら)	ho:ra (ほ一ら)
	麴(こうじ)	ho:ɸzi (ほ一じ)	ho:ɸzi (ほ一じ)	ho:ɸzi (ほ一じ)	ho:ɸzi (ほ一じ)

沖永良部方言の /h/ と共通語の /h/, /k/ との対応関係は、かなり複雑であるが、共通語のハ行とカ行を基準にして対応関係を整理すると、以下のようになる。

表 19 ハ行音

	ハ行子音			
共通語	ha (ハ)	çi (ヒ)	he (ヘ)	φu (フ)・ho (ホ)
和泊・知名	ha~φa	çi~φi	çi	φu

表 20 カ行音

	カ行子音					
共通語	ka (カ)		ki (キ)	ke (ケ)		ku (ク)・ko (コ)
和泊町	ka	ha	tei	ki	çi	ku・φu
知名町			ki			

表 20 に示したように、「キ」と「ケ」に対応する音は、和泊町と知名町で発音が異なる。カ行の例を以下にあげておこう

表 21 カ行音の例

共通語	沖永良部	語	知名町瀬利覚	和泊町国頭
ka	ka	鯉(かつお) *	katsuo (かつお)	katsuo (かつお)
		瓦(かわら) *	ka:ra (かーら)	ka:ra(かーら)
		墓(はか)	haka (はか)	haka(はか) ~φaka (ふあか)
	ha	紙(かみ)	habi (はび)	habi :(はびー)
	ha>a	中(なか)	na: (なー)	na: (なー)
ki	tei, ki	肝(きも)	kimu: (きむー)	teimu: (ちむー)
		息(いき)	?iki (へいき)	?ittei (へいっち)
		昨日(きのう)	kiju (きにゆ) (田皆)	kiñju: (きんにゆー)
ke	ki	酒(さけ)	saki: (さきー)~saki (さき)	saki (さき)
		情け(なさけ) *	nasaki (なさき)(田皆)	nasaki (なさき)
	hi	毛(け)	çigi (ひぎ)	çi: (ひー)
		木(き)**	çi: (ひー)	çi: (ひー)
		hi>i	竹(たけ)	de: (でー)
ku	ku	草(くさ)	kusa: (くさー)	kusa (くさ)
		袋(ふくろ)	φukkuru (ふくる)	φukkuru (ふくる)
		大工(だいく)	se:ku: (せーくー)(田皆)	se:ku: (せーくー)
	φu	茎(くき)	φuki (ふき)	φuni (ふに)
		くば(びろう樹)	φuba (ふば)	φuba: (ふばー) ~φuba (ふば)
ko	ku	九つ(ここのつ)	kunutei: (くぬちー)	kunutei: (くぬちー)
		背中(せなか)	φuei (ふし)	φuei: (ふしー)
	φu>u	暦(こよみ)	φujumi: (ふゆみー)(田皆)	kujumi: (くゆみー)
		蛸(たこ)	to: (とー)	to: (とー)

	ho	麴(こうじ)	ho:ɕi (ほーじ)	ho:ɕi (ほーじ)
--	----	--------	-------------	-------------

* 「鰹」, 「瓦」, 「情け」は新しく共通語から取り入れた語形か。

** 「木」は、奄美祖語では *ke であったと推定されている (上村 1955)。

3. 5. 2 声門音 /ʔ/

声門閉鎖音の /ʔ/ は、「2. 1 短母音」で述べたように、母音だけで音節を作るときに母音の前に現れる。接近音 /j/, /w/ では、3. 6で述べるように、/j/ と/ʔj/, /w/ と/ʔw/ がそれぞれ対立している。また、[kʔ], [mʔ], [tʔ] のような喉頭化した子音が現れることがある。ただし、喉頭化しない [k], [m], [t] と対立しているわけではない。以下に喉頭化子音の例をあげる。

表 22 喉頭化子音

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
kʔ	鍬(くわ)	kʔoi (くわい)	koi: (こいー)	kʔoi (くわい)	kʔoi (くわい)
	桑(くわ)	kʔwa (くわ) ~ kʔwa:gi (くわぎ)	kʔwangi (くわんぎ)	kʔwa: (くわー)	kʔwa: (くわー)
mʔ	孫(まご)	ʔumaga (うまが)	mʔa:ga (まーが) ~ ~ma:ga (まーが)	mʔaga (まが) ~ maga (まが)	mʔaga (まが)
tʔ	手(て)	ti: (ていー)	ti: (ていー)	ti: (ていー)	tʔi: ~ti: (ていー)
	二つ(ふたつ)	ta:tei (たーち)	ta:tei (たーちー)	ta:tei (たーち)	tʔa:tei (たーち)

3. 6 接近音

接近音には /j/, /w/ がある。

/j/ は硬口蓋の接近音で、共通語の /j/ に対応する。沖永良部方言では、声門閉鎖 /ʔ/ を伴う /ʔj/ と声門閉鎖を伴わない /j/ が対立している。例えば、[ju:] (ゆ:湯) と [ʔju:] (ゆー:魚) は [ʔ] の有無により意味が区別されている (ミニマルペアの例)。ミニマルペアの例ではないが、[jo:ne] (よーね:夕方) の [jo] と [ʔjo:] (よー:櫨) の [ʔjo] も別の音として区別されている。

表 23 接近音 /j/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
ja	山(やま)	jama (やま)	jama (やま)	jama (やま)	jama: (やまー)
ja:	家(いえ)	ja: (やー)	ja: (やー)	ja: (やー)	ja: (やー)
ji:	男(おとこ)	jinga: (いんがー)	jinga: (いんがー)	jinga (いんが) ~ jinga: (いんがー)	jinga: (いんがー)
	柄(え)	ji: (いー)	ji: (いー)	ji: (いー)	ji: (いー)
ju	鋤(牛にひかす すき)	ji:zai (いーざい)	ji:de: (いーでー) ~ji:de (いーで)	ji:zai (いーざい)	ji:zai (いーざ い)
	枝(えだ)	juda (ゆだ)	juda (ゆだ)	juda (ゆだ) ~ juda: (ゆだー)	juda (ゆだ)
ju:	湯(ゆ)	ju: (ゆー)	ju: (ゆー)	ju: (ゆー)	ju: (ゆー)
ʔju:	魚(さかな)	ʔju: (ゆー)	ʔju: (ゆー)	ʔju: (ゆー)	ʔju: (ゆー)
jo:	夕方(ゆうがた)	ju:ne (ゆーね)	jo:ne (よーね)	jo:ne (よーね)	jo:ne: (よーね)

ʔjo:	櫛(かい)	kai (かい)	joku (よく)~ jo:ku(よーく)	ʔjo: (ʰよー)	ʔjo'o (ʰよお)
------	-------	----------	--------------------------	------------	-------------

/j/ はまた、子音の後ろに続いて、口蓋化した子音を作る。調査語の範囲では、次のような口蓋化子音が現れた。

表 24 口蓋化子音

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
bja:	葎(にら)	bja: (びやー)	bja: (びやー)	bja: (びやー)	bja: (びやー)
bjo:	病気(びょうき)	ja:di (やーでい)	jadi (やーでい)	bjo:ki (びよーき)	bjo:ki (びよーき)
mja	猫(ねこ)	mja: (みやー)	mja (みや)	mja: (みやー)	ʔmja: (ʰみやー)
mju	食べる	kamin (かみん)	kamjun (かみゆん)	kamin (かみん)	kamin (かみん)
tja	知っているか	atiarukaja (あていあるかや)	atjan (あてあん)	atjai (あてあい)	atie (あていあえ)
dja:	○○だ(断定)	○○dja: (であー)	○○dja (であ)	○○dja: (であー)	○○dja: (であー)
sja	かまきり	ʔieatu (ʰいしやとう)	ʔieatu (ʰいしやとう)	ʔieatu (ʰいしやとう)~ ʔieatu: (ʰいしやとうー)	ʔieatu: (ʰいしやとうー)
sja:	白髪(しらが)	ea:ga (しゃーぎ)	ea:gi (しゃーぎ)	ea:gi: (しゃーぎ)	ea:gi (しゃーぎ)
sju:	潮(しお)	ueu: (うしゅー)	ueu (うしゅー)	eu: (しゅー) / ueu: (うしゅー)	eu: (しゅー)
zja	蚊(か)	gadzamu (がぢやむ)	gadzamu (がぢやむ)	gadzamu (がぢやむ)	gadzamu (がぢやむ)
zju	溝(みぞ)	nidzu (にぢゅ)~ ndzu (んぢゅ)	jindzu (にんぢゅ) / jindzu (いんぢゅ)	nidzu (にぢゅ)	nidzu (にぢゅ)
zjo:	天井(てんじょう)	tindzo: (ていんぢょー)~ tindzo (ていんぢょ)	tindzo: (ていんぢょー)	tindzo (ていんぢょ)	tendzo: (ていんぢょー)
nja:	腕(うで)	ʔudi: (ʰうでいー)	hejna: (へんにや)	ɕinja: (ひんにやー) hejna: (へんにやー)	hejna: (へんにやー)
nju	昨日(きのう)	kipu (きにゅ)	kupu (くにゅ)~ kupu: (くにゅー)	kinpu: (きんにゅー)	kinpu: (きんにゅー)
njo:	蓑(みの)	na:sa (にやーさ)	no:sa (によーさ)	no:sa (のーさ)	no:sa (によーさ)
cja	お父さん	ʔatea (ʰあちや)	atea (あちや)	ʔatea (ʰあちや)	ʔatea (ʰあちや)
	いくら	iteasa (いちゃさ)	ikjasa: (いちゃさー) // ikjasa (いちゃさ)	ʔiteasa (ʰいちゃさ)	ʔiteasa: (ʰいちゃさー)
cja:	板(いた)	itea: (いちゃー)~ itea (いちゃ)	ita (いた)	ʔitea: (ʰいちゃー)~ ʔi:tea (ʰいーちゃ)	i:tea (ʰいーちゃ)
cju	一昨年(おとし)	miteunati (みちゅなてい)	miteunati (みちゅなてい)	miteu (みちゅ)	miteu (みちゅ)
	苺(いちご)	ʔiteubi (ʰいちゅび)	ʔiteubi (ʰいちゅび)	ʔiteubi (ʰいちゅび)	ʔiteubi (ʰいちゅび)

cju:	人(ひと)	teu: (ちゅー)	teu: (ちゅー)	teu: (ちゅー)	te'u: (へちゅー)
cjo:	兄弟 (きょうだい)	回答なし	kjo:dai (きよーだい)	teo:de: (ちよーでー)	teo:de: (ちよーでー)
kja	私たち	wakkja (わっきゃ)	wakkja(わっきゃ)	watea (わちや)	watea: (わちやー)
kju	月(つき)	teikju (つき)	teikju (ちきゅ)	teikkju: (ちっきゅー)	teikkju: (ちっきゅー)
gja:	茅(かや)	gja: (ぎゃー)	gja: (ぎゃー)	gja: (ぎゃー)	gja: (ぎゃー)
hja:	坂(さか)	ça: (ひゃー)	ça:mitei (ひゃーみち)	ça: (ひゃー)	φja: (ふいゃー)~ ça: (ひゃー)
hju:	今日(きょう)	çu: (ひゅー)	çu: (ひゅー)	çu: (ひゅー)	çu: (ひゅー)

/w/ は両唇の接近音で、共通語の /w/ に対応する。出花と国頭では、/wa/ と /ʔwa/ が対立している。例えば、[wa:bi] (わーび: 上) の [wa] と [ʔwa:] (へわー: 豚) の [ʔwa] は、[ʔ] の有無により区別される。また、沖永良部方言には /wu/ の音がある。これは、母音の /u/ とは区別されている。例えば、[wutu] (うとう: 夫) と [utu] (うとう: 音) は、[w] と [u] の違いだけで意味が区別されるミニマルペアである。この /wu/ は古典語の「を」に由来する音で、上の例は、古典語の「をひと (夫)」、「おと (音)」の区別を引き継いだものである。

表 25 接近音 /w/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
wa	腹(はら)	watta: (わたー)	wata: (わたー)	wata: (わたー)	wata: (わたー)
wa:	上(うえ)	ʔui (へい)	ui (うい)	wa:bi (わーび) / ui (うい)	wa:bi (わーび)
ʔwa:	豚(ぶた)	ʔwa: (へわー)	ʔwa (へわ)	ʔwa: (へわー)	ʔwa: (へわー)
wu	一昨日(おと とい)	wutti (ううってい)	wuti (ううってい)	wutti (ううってい)	wutti: (ううっていー)
	夫(おっと)	wutu (ううとう)	wutu (ううとう)	wuttu (ううっとう)	wuttu: (ううっとうー)
wu:	緒(お)	wu: (ううー)	wu: (ううー)	wu: (ううー)	wu: (ううー)

/w/ はまた、子音の後ろに続いて、唇音化した子音を作る。調査語の範囲では、次のような唇音化子音が現れた。

表 26 唇音化子音

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
k ^w a:	桑(くわ)	k ^w a (くわ)~ k ^w a:gi (くわーぎ)	k ^w angi (くわんぎ)	k ^w a: (くわー)	k ^w a: (くわー)
g ^w a:	蚕(かいこ)	mueig ^w a (むしぐわ)	mueig ^w a (むしぐわ)	mueig ^w a: (むしぐわー) ~mueig ^w a (むしぐわ)	mueig ^w a (むしぐわ)

3. 7 特殊音

特殊音には、撥音 /N/ (ん) と促音 /Q/ (っ) がある。これらは母音を伴わずに1つの拍を作る。撥音は鼻にかかる音で、後ろに両唇音の [p], [b], [m] があるときには両唇の鼻音 [m] に、歯茎音の [t], [d], [n] があるときには歯茎の鼻音 [n] に、軟口蓋音の [k], [g] があるときには軟口蓋の鼻音 [ŋ] に、後ろに摩擦音の /s/ , 母音 /a, i, u/ があるとき、および語末では、口のどこも閉じない鼻音 [N] になる。

表 27 撥音 /N/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
m	昼(ひる)	çimma (ひんま)	çimma (ひんま)	çiŋma (ひんま)	çiŋma (ひんま)
n	腕(うで)	ʔudi: (^うでいー)	heŋna: (へんにやー)	çiŋna: (ひんにやー) heŋna: (へんにやー)	heŋna: (へんにやー)
ŋ	南瓜 (かぼちゃ)	naŋkʷan (なんくわん)	naŋko (なんこ)	naŋkʷan (なんくわん)	go:bura (ごーぶら)
N	食べる	kamin (かみん)	kamjun (かみゆん)	kamin (かみん)	kamin (かみん)

促音は子音を重ねる発音で、調査の範囲では、[tt], [kk], [tɕ], [ss], [ɕɕ] の促音が現れた。

表 28 促音 /Q/

	語	田皆	瀬利覚	出花	国頭
tt	四人(よにん)	juttai (ゆったい)	jute: (ゆってー)	jutai (ゆったい)	juttai (ゆったい)
kk	月(つき)	teikju (つき)	teikju (ちきゅ)	teikkju: (ちつきゅー)	teikkju: (ちつきゅー)
cc	灸(きゅう)	jatteu (やっちゅ)	jaito (やいと)	jatteu: (やっちゅー)	janteu: (やんちゅー)
ss	薬(くすり)	薬(くすり)	kusui (くすい)	kusui (くすい)	kussui (くすい)
	大根 (だいこん)	jacee (やっしえ)	jase (やせ)	jacee: (やっしえー) / de:kupi (でーくに)	jasse: (やっしえー) / de:kupi (でーくに)

4 音素目録

以上の音素の一覧をあげておく。

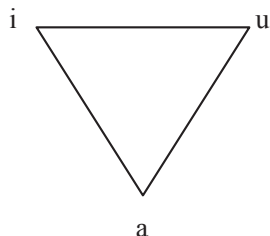


図 3 短母音音素

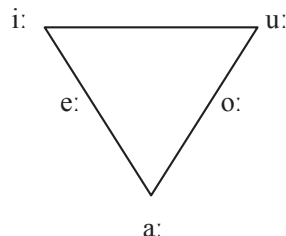


図 4 長母音音素

表 28 子音音素

調音方法		両唇	歯茎	硬口蓋	軟口蓋	声門
破裂	無声	p	t		k	ʔ
	有声	b	d		g	
鼻音		m	n [n~ɲ]			N [N~m~n~ŋ]
摩擦	無声		s [s~ɕ]			h [h~ç~ϕ]
	有声		z [z~ɗ~ɗz]			
はじき			r			
破擦	無声			c		
接近		w		j		

5 音節

沖永良部方言の音節の構造は, (O)(G)N(Co) である。(Oは onset (頭子音), Gは glide (わたり音), Nは nucleus (中核母音), Coは coda (結び) を, ()は任意であることを表す。)

音節の必須の要素は「中核母音」で, これに「頭子音」, 「わたり音」, 「結び」がついて, 1つの音節を作る。以下に音節構造と音節の例をあげておこう。

表 29 音節構造

O (頭子音)	G (わたり音)	N (中核母音)	Co (結び)
p, b, m	w	a, i, u, e, o	Q
t, d, s, z, n, r	j	a:, i:, u:, e:, o:	N
c		ai, oi, ui	
k, g			
h, ʔ			

音節の例

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| (1) N | a.sa.ti (あさてい : 明後日) |
| (2) ON | ha: (はー : 歯) |
| (3) GN | ju: (ゆー : 湯) |
| (4) OGN | k ^w a: (くわー : 鋏) |
| (5) GNCo | waN (わん : 椀) |
| (6) ONCo | miN (みん : 耳) |
| (7) OGNCo | naŋ.k ^w aN (なんくわん : 南瓜) |

参考文献

- 上村孝二 (1955) 「奄美大島方言の発音について」 鹿児島大学紀要「文科報告」4号
 松本幹男 (2000) 「<研究ノート>沖永良部島方言と喜界島方言における中舌母音について」『語学研究』95, 拓殖大学
 甲東哲編著 (2011) 「分類沖永良部島民族語彙集」先田光演編集, 南方新社
 中本正智 (1976) 『琉球方言音韻の研究』法政大学出版局